

南渡島地域リハビリテーション推進会議

【目標】

「たとえ障がいあっても、住み慣れた場所で
いつまでも生き活きと暮らせる南渡島をみんなでつくること」

【活動内容】

総会年1回 運営会議：年6回

運営委員メンバー：医師 保健師 ケアマネ PT OT 事務員 計10名
研修会事業

主催1回：

講演「地域リハビリテーションについて」

グループワーク「医療が介護に伝えたいこと・介護が医療に求めるもの」

共催1回：脳卒中連携協議会との共催講演「未定」

後援1回：POS合同研究会に後援

「一症例を通して、脳卒中リハビリテーションの流れを学ぶ」

タウンミーティング：

函館地区：資源調査と問題点の把握 活動計画を思案中（症例検討会等）

西部地区：出前講習として、介護指導教室を運営委員が開催

地域関係者と親睦を深めている

森鹿部地区：メンバーとの定期会議を実施中、活動計画を思案中

北斗七飯地区：地域リハ施設病院PR大会を実施（130名参加）

【活動の達成度】

：多領域に部会を作り ニーズを出し合い問題解決している段階
（各地域で地域資源分析・問題点を探っている）

【活動の問題点、困っている点】

継続した課題

- ・活動資金の確保 ・会員メリットのPR不足（会員の確保）
- ・地域住民まで周知していない
- ・運営委員はただのボランティア（各職能団体の代表者であるだけ）
- ・指導者・統率者が不明（誰が担うべきか、）

新しく見えてきた課題

- ・活動資金が底を尽きそう
- ・リハ医の存在価値
- ・運営委員の交代時における引継ぎ問題
- ・他圏域との交流がない
- ・南渡島保健医療福祉圏域連携推進会議脳卒中对策部会との関係、事業の共有方法
- ・道南脳卒中地域連携協議会との関係、事業の共有方法